

平成 17 年度
沼津工業高等専門学校動物実験委員会
報告書

○今年度の主な活動

1) 第1回動物実験委員会

1. 実施日時：平成17年5月18日（水）16:00～ 2階小会議室

2. 会議参加者（順不同）：

以上9名

3. 議事：

（1）委員長の選出

委員会規則第4条に基づき、委員の互選により [REDACTED] が選出された。

（2）委員長による委員長代行の指名

委員会規則第4条に基づき、委員長代行は [REDACTED] が指名された。

（3）委員会規則および活動の内容確認

委員会の目的が、動物実験における適切な指針の策定と運用であることを確認した。昨年度まで、適切に動物実験が行われており、特に問題は生じていないことを確認した。今年度も、委員長が実験実施者から現状報告を受け、特に検討課題がないと委員長が判断した場合には、その実施報告を各委員に回覧して、実施内容についての承認を得ることとした。検討課題が生じた場合には、委員長は必要に応じて委員会（主にネット会議）を開いて討議することとした。

（4）今後の主な検討事項

a) 動物飼育設備の管理について

外部環境への配慮と、飼育動物の飼育環境および飼育者の作業環境確保のために、動物飼育設備について、今後も継続的に以下の件について管理する必要がある。

- ・校内の安全衛生管理及び外部環境への配慮の面から、動物飼育室内の排気口にフィルターを設置することの必要性と可能性について検討する。
- ・動物飼育と動物実験に関連する法律、及び動物実験に関する倫理規程の情報をできるだけ集めるとともに、関係者がこれらの資料を必要に応じて閲覧できる環境の整備を検討する。

b) 適正な動物実験の実施について

動物実験が、動物福祉等の観点から適正に行われていることを確認するため、本委員会が倫理委員会の機能を兼ねる。動物実験の法律や倫理規程に抵触する可能性のある実験については、事前に本委員会に実施の承諾を得るものとする。

以上

2) 第2回動物実験委員会

1. 実施期間：平成18年3月1日（水）～8日（水）

2. 会議形式：メール会議

3. 議事：

(1) 平成17年度動物実験報告書の確認

次ページに掲載の実験について、動物の検疫、実験の安全性、糞尿処理・死体処理、動物の苦痛排除等が適切に行われたことを確認した。

これらの動物実験に関する補足説明

- ・実験に用いた試薬には、毒劇物および遺伝子操作、感染症に関わるものは含まれなかった。
- ・実験に用いた動物は、正規業者（日本 SLC 社）より購入したもので、定期的な観察により外見上の異常は確認されなかった。記録簿は、この書類の末尾に添付する。また、遺伝子組み換え動物は、使用しなかった。
- ・動物は、頸椎脱臼またはエーテル麻酔下に安楽死させた。
- ・飼料は通常の市販実験動物用飼料（日本 SLC 社製）、床敷きは通常のチップ（日本 SLC 社製）、飲料水は通常の水道水を使用した。
- ・糞尿の処理は、床敷きのチップ（おがくず）として沼津市が可燃物として収集した。
- ・動物の死体は、三島函南広域行政組合（みしま聖苑）に焼却処理を依頼した。記録資料は、別途保存。

議題：2. 今年度の検討事項への対応

a) 動物飼育設備の充実について

停電時における予備空調設備運転のためのガソリン発電機の購入については、予算の問題で購入できなかった。今後とも、引き続き購入を計画する必要がある。

また、排気ヘパフィルターについても、適当な材質のものが見つからなかったため、継続課題とする。

b) 適正な動物実験の実施について

今年度は、動物実験の法律や倫理規程に抵触する可能性のある実験は無かったため、特に委員会での審議事項はなかったが、今後も引き続き倫理委員会の機能を兼ねるものとする。

議題：3. 平成17年度当委員会の委員の推薦

平成17年度当委員会委員について、当人の承諾を確認後、以下のように校長に推薦した。

動物実験に関係する教員（若干名）：



動物実験に関係しない教員（若干名）：

動物実験に関係する技術職員（若干名）：

庶務課長

議題：4. 平成 17 年度自己点検報告書の作成

平成 17 年度自己点検報告書(本書類)を作成し、その内容について委員
の了承を得た。

以上